

は下らぬ

吾々は現健康保険法に對する反対は、完全なる健康保険法の獲得の爲に
に死の如き法方を採らねばならぬ

一、被保険者委員会の組織

大衆自らまゝにして政治的闘争へ進展せしむる爲めに、被保険者には
場同盟を組織せしむるべし、その代表者によりて地方自治會を組織す。
(大都市、地方は地区自治會を組織する)

二、対策委員会の設置

労働農民党は対策委員會を設置し、全国委員會と完全なる連絡の下に
全運動を指導し、統制すべきである

三、所謂三分説に對する反対

統同盤の主張する三分説(資本家政府労働者各三分の一を担はしむる批評)は
翼主領の裏切り振りを大衆に曝露せねばならぬ

四、大衆的宣傳

労働農民党支部並に聯合會は急速に以上の方針に基いて、ビニの欺弄
演説會某の他の手段に依り、大衆的宣傳を新黨黨員になせしむるべし
労働者に行ひ、政治的意識の喚起と健康保険法の政治的獲得に運動
の方向を指示し、併せて党の拡張を圖らねばならぬ

五、諸願項目に完全なる健康保険法獲得を加ふる事

以上

議會対策の件
提案理由

我々無産階級の政治運動は、且に議會政治に於ては、
階級の権力その自体に對する闘争運動でなければならぬ。然し不がら議會
政治が、ブルジョア政治の大調をなすものである以上吾々は議會政治に對
して、全然無關心拒否の態度をとるべきでない。我々は議會に對して、
常に階級意識を以て之れに對し、おそれなければならぬ。即ち我々の議會運動の
根本方針は議會運動その自体が目標なのでなく、議會政治に對する全無
産階級の不承認を議會に對する抗争力にまで発展せしめねばならぬ。即ち
我々の根本的態度を基準として、今期議會に對しては、我々はたゞの如き方針態
度をもって進むべきである。

(1) 今期議會に對する方針態度

現在の議會は普選法の施行せられざる前に、行はれたる選挙によつて構
成せられたるものであり、先全にブルジョアの独断物であり無産階級
の意思は、一つとして反映し得ない。従つて今期議會に對しては、議會を
即時解散し、普選の即時実施を要求すること、が何よりの先次問題で、不
れはならぬ。此の故に、請願運動全國派議會の下に、全国に高まりつゝ、あ
る議會解散の叫びを議會季節と共に更に激成して、議會の即時解散と云
ふ全大衆的論を起さねばならぬ。其の他の政策綱領は第二段のものであ
る。要約すれば、今期議會に對しては、議會解散を第一の請願項目とし、
の下に大衆を動員して、議會解散を余儀なくせしむる事。